

## 「未来の下諏訪教育を語る会」第4分科会

### 第4分科会 学校・地域連携 ～学校・地域連携による教育活性化～ 分科会テーマ 「学校・地域が連携して、未来の下諏訪人を育てよう」

**協議題1** 学校と地域とが、さらに連携を強めるため、学校運営委員会は、どんな組織にし、どのように運営していったらよいか。

**協議題2** 地域は、学校と連携しながら、地域の子どもの、どのように育てていったらよいか。

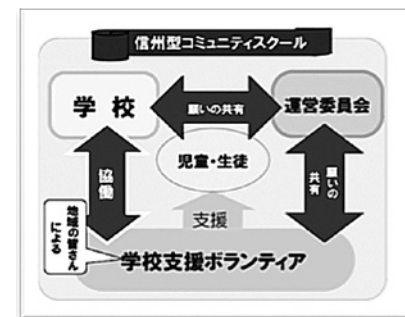
#### 《協議題1についての提案》

来年度の4月から町内4小中で立ち上げる予定でいる信州型コミュニティスクール（下図）について、また、その中心機関である「学校運営委員会」のしくみやはたらきについて説明し、学校運営委員会などについてのご意見をいただきました。



#### 【いただいたご意見（一部）】

- ・急がずに、まず、各種団体代表の集まりでスタートし、その後少しずつ手直ししていくなど、あまりがっちりした組織にしない方がよいのではないか。
- ・方向はよいと思う。より幅広い団体、幅広い年齢層を集め、また、区長も委員に入れた方が、ボランティアの幅も広がるのではないかと。
- ・組織には、子どもたちに最も近いPTA代表、保護者代表を入れた方がよい。



・地域のすばらしい人材をもっと知らせて、忙しい親の手助けをしてもらってはどうか。ただ、親一人一人がもっと子どもを理解することが必要ではないか。

#### 《協議題2についての提案》

中学生アンケート（右図）から「中学生の地域行事参加」についての実態と可能性について説明し、地域行事参加のためのご意見をいただきました。

#### 【いただいたご意見（一部）】

- ・子どもの行事参加を受け入れる大人たちの体制や心構えも大切。先達に学ぶ機会があればと思う。保護者も交えての話し合いの場を持つことが大事。
- ・地域行事に参画することを進めるには、地域のリーダーの皆さんが門戸を広げてくれることが大事だと思う。各区の分館が、中学生も参加できることを企画・提案してもらったらどうか。
- ・地域として、連携を考えていく必要がある。子どもをどう育てていくのか、地域として何ができるのか、区単位の行事のない町、中学生が数名しかいない町もあり、地区ごとに課題は違うので、地区ごとに考えたらよいのでは。
- ・中学生に地域行事で責任のある任務を与えることが、中学生にとっても張り合いになる。具体的な方法を模索したい。
- ・町をきれいにする道路の草取り・清掃や冬の雪かきボランティア、地区の防災訓練など、子どもたちが地域で活動できる機会をつくることも必要だと思う。
- ・学校便りは、学校の様子分かってとてもよい。学校運営委員会や学校支援地域本部についても、学校便り等で、もっと町民にアピールしてよいと思う。

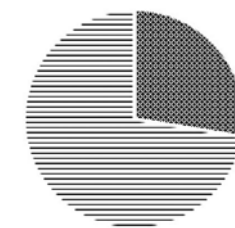
#### 《感想》

第4分科会には、大変多くの皆さんに参加していただき、地域の皆様が高い関心を寄せてくださっていることを実感しました。今後、さまざまなご意見を参考に、児童・生徒が参画できる学校・地域連携を構想していきたいと思いました。

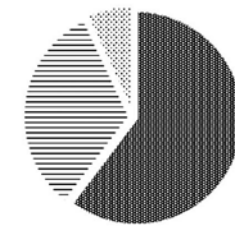
#### 中学生アンケートの一部

「地域行事にスタッフとして参加した経験の有無」

「有り」27% 「無し」73%



上の質問に「無し」と回答した生徒に「地域行事のスタッフ募集があったらどうするか」と聞いたところ  
参加60% 不参加30%  
分からない10%



## 「未来の下諏訪教育を語る会」第2分科会・第3分科会

### 第2分科会 英語教育と国際理解

#### 分科会テーマ 「国際化時代に生きる子どもたちのあり方」

#### 基調提案

- (1) 児童生徒による国際理解と英語研修 \*CISV：国際子ども村  
8月23日（土）・CISV研修に参加（社中3名、下中4名）  
「高遠少年自然の家」で、6カ国の中学生と交流。
- (2) 下諏訪における英語教育
  - ①町内全保育園で外国語活動の実施
  - ②小学校インターナショナル・デイの開催
  - ③中学校にもレシピ(コミュニケーションタイム)を導入
  - ④英語を使うチャンスを(地域からの要望)



#### 【今後の取り組みについて】 ※「アンケート用紙」より

##### ○よい点

- ・学校、塾、国際文化交流会などいろいろな立場の方のご意見を聞くことができ、有意義に感じました。特に海外で働いていらっしゃる方のお話はとてもよかったです。
- ・町の英語学習、国際理解の取り組みを知ってもらいよい機会となっていると思いました。

##### ●今後の課題

- ・子どもだけでなく、親も巻き込むような国際交流の場を増やしてほしいと思いました。
- ・充実した下諏訪国際文化交流会を、定期的に開催していただきたいです。
- ・今を生きる子どもたちにとって、外国語をもっと身近にしていけないとコミュニケーションづくりができる人間に育たないと思います。昔のようにテストの点数をとるための勉強方法ではなく、今のように将来使えるための英語を考えていってもらいたい。自分の考えを言葉として、上手に伝えられるような子どもたちになってほしい。

### 第3分科会 体力向上・社会体育

#### 分科会テーマ 「学校体育と社会体育の連携によるスポーツ活動のあり方」

昨年に引き続き、『下諏訪町の子どもたちの体力を向上させるには、スポーツ好きな子どもたちを育てることから』という共通認識のもと、討議の柱に沿って活発な意見交換がなされました。

#### 討議の柱1 子どもの体力面での課題や問題

- ◇小学校高学年で、運動や体力の二極化が進んでいる。小学校低学年では全国平均以上の体力を中学校まで維持していくことが必要ではないか。
- ◇幼児期の運動経験が不足している。小さい頃から運動遊びの楽しさを体験させることが大切ではないか。

#### 討議の柱2 スポーツ好きな子どもを育てるために

- ◇小さいころから、体を動かす機会を提供できたらよい。そのためには、子どもが安心して遊ぶことができる場や時間の整備を進めていきたい。
- ◇町保育園で導入している「脳を育て心を育てる」柳沢運動プログラムの検証をもとに、運動やスポーツの楽しさを伝える取り組みについて考えていきたい。

下諏訪町の子どもたちの体力について様々な側面からご意見をお聞きすることができました。来年度は、関係者の皆様が取り組まれている具体的な活動を振り返りながら、さらに討議を深めていければと考えています。

